

伝えたいこと

校長 遠藤 玲

□避難訓練3日(金) 自分の命を守ることを考える時間

大きな地震の発生、大津波警報発令を想定～終了後、校長からの講評(放送)

今年2回目の避難訓練でした。前は6月で、グラウンドに避難しました。覚えていますか？

今日は避難場所が違いましたよね？そうです、今日は「大きな地震の発生、そして大津波警報発令」を想定した避難訓練です。なぜ3階なのでしょう？先生に言われて、机の下に入って、話をしないで、ならんで避難場所に移動する、皆さんなら、簡単にできることです。

私たちは大きな地震を今から3年前の2018年9月6日3時7分北海道胆振東部地震で経験しています。厚真町を震源地とする震度7の大地震は、高校生を含む、多くの尊い命が失われました。水や電気などのライフラインは寸断され、多くの建物が崩壊しました。家を失い避難所での生活、未だに不便な生活を送っている方々がたくさんいらっしゃる、と聞きます。また、3年生は修学旅行で東北地方を訪ね、2011年3月11日東日本大震災での地震・津波の被害を自分の目で確かめてきました。皆さんが住む苫小牧は、地震や津波、噴火がいつ起きてもおおしくはありません。太平洋という海が近くにあります。そして樽前山という活火山があります。大切なのは、いつ起こるかかわからない、という心構えだけは日頃からしっかりとつことですよ。

皆さんに伝えたいことは「命は絶対に守ること」今日は地震発生、大津波を想定して、「安全を確保する・命を守るため」の行動の練習をしました。しかし、自分の命が奪われそうな危険が、あらかじめわかっていることなんてありません。火災や津波、地震、交通事故もそうです。あってほしくありません。でも、万が一の発生の時、絶対に命を失うことのないよう、危険に近づかない、危険から離れること、を大原則にしてください。

今日の話のまとめです。自分の命は自分で守らなければいけません。命は大切にしなければいけません。自分で危険の状況や情報を整理して、自分で正しい判断・行動ができる力を身に付けてください。

□学校祭10日(金)真剣・躍動の姿、協力の証しの作品の数々

これまで同様のことはできない、伝統を受け継ぎながらも、時代に合った学校行事での挑戦！

おかげさまで、本校は無事学校祭を開催することができました。昨年は明倫フェスティバルとして、体育祭を兼ねて行いました。今年も合唱活動自粛や体育館入場人数の制限等を踏まえ、明倫中しかない「ONLY 1」の学校祭を創り上げました。学年演劇、展示制作(1年;折り鶴アート、ちぎり絵、2年;切り絵、3年;SDGs立体展示)を活動とし、事前の準備・練習に一生懸命に取り組んでくれました。取組を通して、全校生徒、それぞれ一人一人の持ち味・長所の新発見がたくさんありました。活動の中心的役割を担ったのが実行委員会(生徒会執行部、学級委員長)メンバーです。開祭式・閉祭式の進行を含め、よくやってくれました。映像やダンスパフォーマンス等、今できることを工夫しながら大いに盛り上げてくれました。やってみたいことへの挑戦は不十分だったかもしれませんが、明倫中の新たな伝統を次に繋げてくれましたことに感謝します。保護者の皆様にも、ぜひ、「生」でご覧になっていただきたかったところでしたが、ご理解願います。

3年生立体展示については、3階特別教室を使用していたため、16日(木)17日(金)夕方に希望の保護者を対象に観覧時間を設けました。(長期間の保管ができないため)今回の希望の有無はさくらメールで確認しました。とても簡単に把握できることから、活用の幅を工夫していきます。なお、1、2年生の展示作品については、後日学年演劇の上映とともに、ご覧になっていただく予定です。(PTA役員の皆さんに撮影・編集をお願いしています。)

□緊急学年集会 15日(水) 「SNSの使い方、人との関わり」

あなたの何気ない書き込み、言動で嫌な思いをしている人がいるかもしれない

2年生は朝の会の時間、1年生は5時間目(総合的な学習の時間)前半、3年生は6時間目終了後に、急きょ体育館に集まり、本校児島教諭(生徒指導主事)から話がありました。それは、「SNSの使い方、人との関わり方について」です。SNS上での匿名の書き込みにおいて、個人名、悪口いわゆる誹謗中傷、不確かな情報(憶測)、それらが瞬時に拡散している現実・・・そして、その情報を鵜呑みにしてしまう人たち・・・これらによって嫌な思いをしている人がたくさんいるからです。実際に校内で相談のあったケースも含め、自身の行動を振り返る集会を行いました。

「自分がされて嫌なことはしない」、「感じ方は人それぞれ、苦痛を感じれば、いじめである」、「無責任な情報に流されない」・・・当たり前のことと言えば当たり前、でも、とっても難しい今の時代です。学校でもネットエチケットについては、継続して指導していきますが、追いつきません。東京・町田小6自殺、旭川女子中学生凍死、絶対にあってはなりません。そして、これらは他人事でも決してないことを、私たち大人が強く認識しなければいけません。

□こころの授業 「幸せはつかむものではない、感じるものです」

15日(水)6校時オンライン 講師 二宮 秀人 氏

「今の瞬間を喜ぶことで、未来が変わる」をテーマに、奈良県在住の二宮 秀人 氏をお招きし、こころの授業(全校道徳)を行いました。緊急事態宣言下で来校者の制限をかけている中、二宮氏のご理解をいただき、オンライン(放送)による実施になりました。二宮氏は文化講演会講師をはじめ、小・中学校道徳講師、高齢者大学講師、アフリカ・ケニアの支援活動、里親、等の多方面でご活躍されています。来校に当たっては、事前の健康調査、2回のワクチン接種、PCR検査を受けていただきました。本来は、直に子どもたちに語りかけてほしかったところですが、テレビ画面を通じて、熱い想いが伝わったはず。生徒たちからは、普段ならあんまり考えることのない「今この瞬間の大切さ」を知ることができて貴重な時間となった。これからは、1分でも1秒でも「幸せ」や「瞬間」を感じていきたいです。他には、二宮さんの話を聞いて、いつでも前向きに考えようと思えてよかった。また、色々な言葉を聞いて、新しいものの見方をしてみようと思った。などの感想がありました。

【上記の他の元気がでるメッセージ】

- 10分前に戻れない、10分先にも行けない、今をどう思うかで未来は大きく変わる
- 今を喜ぶ人は1ヶ月先、1年先も喜ぶことができる
- チャンスの女神は前髪しかない(迷っていると通り過ぎてしまう)
- 幸せはいたるところにある、私たちにアプローチしている
- 偶然とは努力した人に運命の橋を架けてくれる
- やりたいことをやる人生とやらない人生、あなたはどっち?

今後も7月「仙台フィルハーモニー管弦楽団」による芸術鑑賞と同様、子どもたちがその道のプロフェッショナルを直に感じる機会を創っていきます。

コンクールの結果

【第37回学校給食作文コンクール】

中学生の部	1学年最優秀賞	1年〇組	〇〇	〇〇	2学年最優秀賞	2年〇組	〇〇	〇〇
	3学年最優秀賞	3年〇組	〇〇	〇〇	2年〇組	〇〇	〇〇	
	2学年 優秀賞	2年〇組	〇〇	〇〇				
	5名については、	10月14日(木)	に表彰式行われます。					

引き続き感染症対策の徹底をお願いします！

ここ数日、報道されている新型コロナウイルス感染症の人数は減少傾向にありますが、油断できません。引き続き、「健康観察、うがい・手洗い、マスク着用」、「体調不良時の休養」、「同居家族の風邪症状時の休養」等の徹底をお願いいたします。